

小谷里奈 小川遥 二人展

KOTANI RINA

OGAWA HARUKA

対岸の窓



上：小谷里奈
向こうの姿
S100号 (1620×1620mm)
2023

下：小川遥
見世努友
F100号 (1620×1330mm)
2023

2025年
5月14日(水)～6月22日(日)
S-Gallery 肅祭寶美術館
茨城県猿島郡境町 1455-1 Tel:0280-23-4148
主催：境町／企画：境町アートプロジェクト
<https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/sp/page/page003746.html>



- 休 館 日：月曜日、火曜日
- 開館時間：午前 10:00-12:00 (入館11:30 まで)
午後 13:15-17:00 (入館16:30 まで)
- 入 館 料：330 円 18 歳未満 65 歳以上は無料 (年齢が確認できるものを提示)
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い 1 名無料

アーティストトークイベント 小谷里奈(画家)×内海聖史(聞き手) 5月25日(日)14:00-15:00
作家が自作について解説いたします。 小川遥 (画家)×内海聖史(聞き手) 6月07日(土)14:00-15:00

ごあいさつ

「絵画」といっても、様々な表現があります。

油絵、水彩画、アクリル、テンペラ、墨絵・・・

その中でも、「岩絵具」という岩石や鉱石を砕いた顔料を、^{にかわ}膠で溶いて描かれるものを「日本画」といいます。

今企画では、その日本画で現在活躍している作家、小谷里奈と小川遥を紹介いたします。

「観る」「眺める」という、多くの方が日常的におこなう行為について、考えたことはあるでしょうか？ 目が開いていれば、当たり前のようにある「見える」という状況。

しかし、それは各々とても個人的な行為で、ひとりひとり「観えて」いるものは大きく異なります。

例えば同じ森の景色でも、材木屋と自然学者と画家では捉えている情報が全く異なります。その中で、画家はその目に写る現象を画面の上に再現しているのです。その「観たもの」「眺めたもの」を私たち他者と共有できる面白い存在だと思います。

画家の目を窓にして、誰かの眺めの一端を垣間みていただきたいです。
(境町アートプロジェクト)



小谷里奈 Rina Kotani

1984年 東京都生まれ 現在茨城県つくば市在住

2012年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻日本画研究領域修了

2012年/2016年/2017年/2020年個展(彩鳳堂画廊/東京・河口湖ミュージアム/山梨)

2012年 日中国交正常化40周年記念「日中美術展」(東京美術倶楽部/東京)

2020年 百年の杜のアート「紫幹翠葉」(明治神宮ミュージアム/東京)

2014年 第1回 TERRADA ART AWARD 優秀賞 審査員山口裕美賞

2016年 第1回石本正日本画大賞展 大賞

2018年 第36回上野の森美術館大賞展 優秀賞ニッポン放送賞

2024年 seed山種美術館 日本画アワード2024 奨励賞(同2019年入選)



作品はどんな方法でも批評可能です。

それは人はあらゆる視座に立つことが可能であるためです。そして、作品の自立はあり得ないからこそ、お互いの視点を批評しあえる作品を同空間に並べることが重要で、互いに見えていなかった視座を補完し合うと考えます。

小谷里奈の作品は、点描という方法で線に対する疑問を呈します。

小川遥の作品は、光の反射の差異のみを利用する方法で、色彩に対する疑問を呈します。

批評と共感のどちらをも包摂し、鑑賞される方の感性を満たす展示空間を目指しました。

是非多くの方にご覧頂きたいです。(小谷里奈・小川遥)



小川遥 Haruka Ogawa

1987 年生まれ

2010年 多摩美術大学絵画科日本画専攻卒

2013年 第28回ホルベインスカラシッパ奨学生・ワンダーウォール 2013、
第19回三菱商事アート・ゲート・プログラム、第8回大黒屋現代アート
公募展、第8回タグボートアワード 入選展覧会

2017年「- 手鏡 -」(個展)かわかみ画廊/東京

2019年 Seed 山種美術館 日本画アワード 2019

2020年「- 花影を踏む -」(個展)かわかみ画廊/東京

◇画像上から順に

小川遥 1. 「花影を踏む」 M50 (1167×727) 2024

2. 「とはずがたり (山桜と大島桜)」 本画 78×128 (折帖本体:125×175) 2025

小谷里奈 3. 「夕さり」 SM (158×227) 2024 4. 「水光」 P6 (242×410) 2016

交通アクセス

●東武線東武動物公園駅から

朝日バス「境車庫」方面 約40分 「坂花町」下車

●JR古河駅から

朝日バス「境車庫」方面 約30分 「境町(河岸の駅さかい)」下車

●東京駅から

高速バス東京駅境町線 約80分 自動運転バス

「境町高速バスターミナル」 約40分 「干し芋カフェ」下車

●圏央道境古河ICから車で約10分



※駐車場の詳細は[こちら](#)を参照

S-Gallery 肅祭寶美術館

<https://www.sakaimachi.jp/shukusampo-museum.html>

茨城県猿島郡境町 1455-1
Tel.0280-23-4148

(旧 Twitter)
境町自動運転バス
(ARMA)運行情報



自動運転バスの
運行情報は
こちら

